

「大塚食品 釧路工場 FN 工場」など 5 件を顕彰

第42回冷凍空調設備の優良省エネルギー設備顕彰式が、3月19日、東京・千代田区のKKRホテル東京にて挙
行された。

5 設備を顕彰、省エネセンター最優秀賞に 「精研」

今回の顕彰設備は新設設備部門1件、改修設備
部門3件、運転・保守管理部門1件で、合わせて
5設備を顕彰した。最優秀賞にあたる(一財)省エネ
ルギーセンター最優秀賞には、(株)精研(大阪市中
央区)が施工し、大塚食品(株)釧路工場FN工場(北
海道釧路市)に導入した「CO₂冷媒空冷ブラインチ
ラーによる寒冷地でのプロセス冷却設備の省エネ
ルギー化」が受賞した。

また、優秀賞には、(株)ダイキンアプライドシス
テムズ(東京都港区)が施工し、(株)SUBARU群
馬製作所北本工場(埼玉県北本市)に導入した「大
空間工場空調省エネルギーシステム」、奨励賞には、
シー・エイチ・シー・システム(株)(東京都世田谷
区)と大久保産業(株)(徳島県徳島市)が施工し、
大久保産業(株)本社(徳島県徳島市)に導入した「ク
ラウドサービス(Ultimate IAQ)による室内空気質
のビッグデータを活用した空調機器の運転適正化に
よる省エネの実現」、同じく奨励賞には、三菱重工
冷熱(株)(東京都港区)が施工し、カネフジ冷蔵(株)
本社(北海道北斗市)に導入した「自然冷媒CO₂大
型直膨ユニットを用いた冷蔵倉庫設備改修にともな
う省エネ化」、同じく奨励賞には、(株)三冷社(東
京都中央区)が施工し、関東運輸(株)県央センター
(群馬県玉村町)に導入した「地球環境の負荷低減
を目指したCO₂冷媒を使用した冷凍冷蔵設備」がそ
れぞれ受賞した。

この度受賞された設備は、川瀬貴晴千葉大学名誉
教授を長とする特別委員会を2月21日に開催、慎
重審議のうえ以上の5設備を選出した。



顕彰式の様子



式辞を述べる國松会長

顕彰式は大森洋平・経済産業省製造産業局産業機
械課課長補佐、田中隆羽同係長、小池穰治・(一財)
省エネルギーセンター常務理事、岡田哲治・(一社)
日本冷凍空調工業会、藤澤一郎・(一社)日本空調衛
生工事業協会会長らが来賓として出席した。

定刻の午後3時30分、司会の白田良幸専務理事
が開会を宣し、次いで國松孝一会長が「当会の優良
省エネルギー設備顕彰事業は、皆様のご協力により
今年で42回目を迎えることができた。」と述べ、「日
設連では、会員の皆様が得意とする、特に省エネ対
策が遅れている小規模ビルの省エネ化を促し、地球
温暖化防止に寄与するとともに、会員へのビジネス



講評を発表する川瀬委員長

チャンスの創出と業界の活性化を目指している。省エネは、エネルギー価格の高騰を受け、喫緊の課題であり、業界上げてお客様への設備改善提案による省エネルギー対策の強化を図ることによって、中長期的にみれば、お客様への経営改善、経営支援につながるものと考えている。また、使用中の機器からフロンが漏えいすることは、機器のシステム効率の低下を招き、電力消費の増加につながる。省エネルギー対策としても漏えい防止は重要な対策でもある。さらに、より一層の省エネルギーの推進と確実なフロン回収、排出削減など環境負荷の低減は、設備産業に携わるわが業界に課せられた重要な使命であると申せましょう。本日ここに顕彰を受けられた皆様は、このような環境を十分理解されたとともに困難な条件を克服され、日頃蓄積された技術を駆使し、省エネルギーへの取り組みに尽力されたご功績は多とするものであり、そのご努力に深甚なる敬意を表するものである。」と式辞を述べた。

次いで、川瀬貴晴審査委員長(千葉大学名誉教授)による審査結果の発表を行い、受賞5設備の省エネルギー技術の特徴について講評を行った。

次に顕彰に移り、はじめに(一財)省エネルギーセンター最優秀賞の「大塚食品釧路工場FN工場」に導入した「CO₂冷媒空冷ブラインチラーによる寒冷地でのプロセス冷却設備の省エネルギー化」の施工者、(株)精研の辻武寿代表取締役社長に顕彰状が、設備所有者の大塚食品(株)釧路工場の佐々木博朗工場長に感謝状が、同センターの小池穰治常務理事から贈られた。



小池・省エネセンター常務(左)から顕彰状を授与される辻・精研社長(右)



受賞者代表謝辞の述べる辻・精研社長

また、優秀賞と奨励賞の施工者には顕彰状、設備を導入していただいた設備所有者には感謝状を國松孝一日設連会長より記念品と一緒に贈られた。

「所有者に鍛えられ技術力が向上」と受賞者代表あいさつ

賞状授与のあと、受賞者を代表して辻武寿・(株)精研代表取締役社長から「今回の受賞は、所有者様からの省エネ関連の相談を受け、所有者様に鍛えられ、評価採用に至りました。そして、我が社の技術力・技能力の向上につながっている。今後もより一層の努力を重ね、日々頑張っていく。」と受賞者代表者あいさつがあった。

「当該顕彰は価値ある賞」と祝辞

最後に、来賓を代表して岡田哲治・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事より、はじめに受賞された皆

良省エネルギー設備 法人日本冷凍空調設備工業連



祝辞を述べる岡田・日冷工専務理事

様へのお祝いと積極的な省エネへの取り組みに敬意を述べた後、「冷凍空調分野の製品は、製品を買ってきてコンセントに繋げば終わりというものではなく、それぞれの現場、あるいは設備といったところにいかにマッチした形で設計するか、施工するか。これは省エネルギー性に非常に大きく関係してくる。そういう意味では、日設連で実施している省エネルギー設備顕彰というのは、非常に価値のある賞だと思っている。これからも、設備と機器と一体化した中で、新しく素晴らしい省エネシステムをどんどん生み出して欲しい。」と祝辞があった。

“エネルギーの見える化”の重要性について説明

今回の記念講演は、「カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ」と題して、(一財)省エネルギーセンター省エネ技術本部技術支援センターの藤林晃夫センター長が行った。

その中で藤林氏は、「“エネルギーの見える化”。日本は今までギガジュールを減らすという概念でやってきた。見方を変えなければならない。その時いま、どこの立ち位置にいるかという話し。将来的には熱エネルギーに換えてうまく使っていく。もしかすると電気ではない、あるいは別のものや電気を一旦蓄熱するとか、そういったものを視野に入れて取り組む必要があるというときに、この“エネルギーの見える化”が非常に重要だと痛感している。」と話され、カーボンニュートラルに向け徹底した省エネの追求と非化石エネルギーの導入、再生可能エネル

良省エネルギー設備 法人日本冷凍空調設備工業連



記念講演（藤林・省エネセンター技術支援センター長）

ギー、熱源の脱炭素化、熱エネルギーの有効利用、蓄熱技術の向上等について、説明した。

和やかに記念パーティー

顕彰式、記念講演に引き続き、別室で記念パーティーが開かれた。パーティーの冒頭、是常副会長より「先程の講演の中で“省エネポテンシャル”という言葉に実感が沸いた。省エネをしたいという会社はいっぱいある。補助金は本当に必要な会社に流れるような仕組みがもっと進めばいい。省エネポテンシャルを沢山お持ちのお客様に提案できればと思いながら、藤林さんの話を聞いていた。これからも省エネに対する意識をもっともっと高めいただき、知見と経験を積んで、我々自身も成長し、お客様のために貢献していきたい。」と挨拶した。

続いて、小池稷治・(一財)省エネルギーセンター常務理事より「今回は、省エネの推進、CO₂削減、



パーティーで挨拶する是常副会長



乾杯の挨拶をする小池常務（省エネセンター）



パーティーで中締めをする鎌田正司副会長

さらにGWP、そういった異なる目標を同時に達成しなければならない。それらを全てクリアされているという意味では、非常に感銘を受けている。表彰式は昭和58年から始められていると、爾来、ビジネスモデルなり技術が一般に普及を図る努力をされている。手前味噌になるが、当センターは省エネ大賞を実施しており、優れた省エネ、CO₂削減の技術を賞することによって水平展開を図っていくという意味では、まさに日設連さんの思いは一緒に、優れた

技術やビジネスモデルが発展していくことを通じて、目標は達成されたということで、今後とも優れた技術が集まることを期待している。」と挨拶をし、同氏の乾杯の発声により、記念パーティーが始まった。

同パーティーは、受賞者らが参加し、和やかに歓談、あちこちで情報交換をする姿が見られ、鎌田正司副会長の中締めで盛会裡に終了した。

第42回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

令和7年2月21日 （一社）日本冷凍空調設備工業連合会

No.	部 門	設備施工者	設備所有者〔設備建物名〕	テーマ
1	一般財団法人 省エネルギーセンター最優秀賞 〔改修設備部門〕	株式会社 精研 (大阪市中心部)	大塚食品株式会社 〔釧路工場 FN 工場〕 (北海道釧路市)	CO ₂ 冷媒空冷ブラインチラーによる寒冷地でのプロセス冷却設備の省エネルギー化
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 優秀賞 〔新設設備部門〕	株式会社 ダイキンアプライド システムズ (東京都港区)	株式会社 SUBARU 〔群馬製作所 北本工場〕 (埼玉県北本市)	大空間工場空調省エネルギーシステム
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔運転・保守管理部門〕	シー・エイチ・シー・システム 株式会社 (東京都世田谷区) 大久保産業株式会社 (徳島県徳島市)	大久保産業株式会社 〔本社〕 (徳島県徳島市)	クラウドサービス (Ultimate IAQ) による室内空気質のビッグデータを活用した空調機器の運転適正化による省エネの実現
4	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔改修設備部門〕	三菱重工冷熱株式会社 (東京都港区)	カネフジ冷蔵株式会社 〔本社〕 (北海道北斗市)	自然冷媒 CO ₂ 大型直膨ユニットを用いた冷蔵倉庫設備改修にともなう省エネ化
5	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔改修設備部門〕	株式会社 三冷社 (東京都中央区)	関東運輸株式会社 〔県央センター〕 (群馬県玉村町)	地球環境の負荷低減を目指した CO ₂ 冷媒を使用した冷凍冷蔵設備